

# 神経生理心理学

[講義] 第2学年 後期 自由選択 1単位

《担当者名》橋本竜作 ( hashi-ryu@hoku-i-ryo-u.ac.jp )

## 【概要】

神経生理心理学は、心理的な過程や行動が脳や神経系の生理学的な過程とどのような関係にあるのかを研究する心理学の専門分野です。この科目では、認知機能や行動と神経系の関係に関する基礎知識を学ぶ。

## 【学修目標】

一般目標：

神経生理心理学に関する基礎知識を修得する。脳神経系の電氣的活動、脳血流・代謝動態、自律神経活動について、各指標と心理機能との関係を説明できる。

行動目標：

- 1) 脳神経系の活動を反映する生理指標について説明できる。
- 2) 各生理指標が反映する心理機能とその解釈上の限界を説明できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	神経生理心理学とは	心を脳と身体との活動として捉える視点を学ぶ。	橋本竜作
2	脳神経系の構造と機能	解剖学的構造を復習し、各部位の心理機能について学ぶ。	橋本竜作
3	生理学的反応の機序	生理指標の測定法とその意味について学ぶ。	橋本竜作
4	覚醒・注意	意識を支える働きから、特定の情報を捉える注意まで、その仕組みを学ぶ。	橋本竜作
5	ストレスと情動	情動の神経基盤と、ストレス反応のプロセスを学ぶ。	橋本竜作
6	認知制御・実行機能	行動を制御する働きと脳活動との対応を学ぶ。	橋本竜作
7	報酬・動機づけ	報酬系の仕組みと動機づけについて学ぶ。	橋本竜作
8	高次認知機能とその障害 (臨床への架け橋)	高次脳機能障害との関連について学ぶ。	橋本竜作

## 【授業実施形態】

遠隔授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

## 【アクティブ・ラーニング】

導入している

## 【評価方法】

各回の小テスト 40%、定期試験（筆記試験）60%

## 【教科書】

教科書は指定しない。

## 【参考書】

生理心理学と精神生理学 第 巻 基礎・坂田省吾・山田富美雄/編集・北大路書房  
生理心理学と精神生理学 第 巻 応用・片山順一・鈴木直人/編集・北大路書房

## 【備考】

Google Classroomを利用したオンデマンド型授業である。  
Googleフォームを用いた小テストで、知識の定着を図る。  
ストリームを通じて学生の質問・意見を収集し回答する。  
欠席回数は各自責任をもって管理すること（自己管理）。  
問い合わせがあった際には、回答の要点を掲示する。

## 【学修の準備】

講義で取り上げられた専門用語などを深く理解すること（80分）。  
講義動画と配信資料を参照しつつ、小テストに回答する（20分）。

講義内容に関連した実生活での心理的過程を自ら考える(60分)。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2. 言語聴覚療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

**【実務経験】**

公認心理師

**【実務経験を活かした教育内容】**

認知神経科学的実験を行ってきた経験を活かして、認知機能や行動と神経系に関する講義を行う。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している